

# 2016年度 事業報告

施設名 ガーデン ロイ

施設長名 高田 裕之 ㊞

種別 児童養護施設

設立 2010 年 4月

認可 2010 年 4月 1日 認可

2017.5 作成

## \*2016年度事業計画に対する評価

### 運営目標

- ・養育の連続性を大切にするためにエルとのつなぎ養育・支援を行い、その後も、大切な人として関係を大切にしている。
- ・イエス団リーダーシップ研修、JB フェローズへの積極的な参加した。
- ・納涼盆踊り大会や特別養護老人ホームなるかわ苑の夏祭り等の行事に積極的に参加した。

### ミッションステイトメント2009

- ・ガーデンロイマニュアルの中で讃美歌、聖書朗読、主の祈りの意味を確認した。
- ・全ホーム小規模グループケア体制を整えた。
- ・学童に対し、学研や家庭教師を利用して、一人ひとりに合った学習支援を行った。
- ・毎朝の職員礼拝や朝礼、毎月の職員会議、研修会などで法人、施設の使命を随時確認した。
- ・幼稚園児以上を対象にセカンドステップを行い子ども自身が生きる工夫を身に付けられるようにした。

### 運営管理・経営面

- ・2017.1.30-31、三年に一度義務化されている第三者評価を受審した。
- ・2016.7.7 法人、2016.9.13 府の監査を受け、改善すべき点を改善し、より良い運営に努めた。
- ・職員配置基準以上の職員を確保し養育にあたった。

### 施設面

- ・危険防止のため屋根に柵を設置した。
- ・年二回、植栽の剪定を行った。
- ・落下防止のため窓に安全柵を取り付けた。

### 事業内容

- ・差配表を取り入れ、一日の動きを申し送り確認し、柔軟な対応体制を整えた。
- ・申し送りを13時からにすることで、前日の児童の把握、伝達、対応、情報の共有など協議する時間が確保できた。
- ・生活日課を統一しホームが違っても同じ支援が出来るようにした。
- ・生活日課の意味合いと、その支援内容について、全ホームで情報共有し、支援内容の統一化と質の向上に努めた。
- ・子ども中心の自立支援計画作成に着手した。
- ・学習への取り組みが困難な児童に対して、個別の学習支援を実施した。
- ・ガーデンエル（乳児院）との一貫養育体制を保つため、前乳児院担当職員との個別外出を実施した。
- ・セカンドステップの質の向上を図る為、研修会のファシリテーターとして職員を派遣した。
- ・新たにカットボランティア、遊びのボランティアの導入があり、様々な大人との関わりの経験を増やした。
- ・家庭支援専門相談員を新たに1名配置した。
- ・個別時間の数値化、個別の支出金額の明示により、支援の「見える化」を図った。
- ・ホーム支援職員を配置しホームが孤立しないようにした。
- ・スーパービジョン体制が確立した。
- ・子どもの気持ちに寄り添いながらのライフ・ストーリー・ワーク(LSW)実施した。
- ・養育する職員を対象に心理士がこころのケアを行い、施設の状況把握に努めた。

### その他

- ・2016年度大阪府社会福祉協議会施設部会河内会副会長施設としての役割を果たした。

- ・3年目の東大阪市福祉施設会の幹事施設の役割を果たした。
- ・第8次（6月24日～30日）、第9次（10月25日～31日）として、各1名岩手県大槌町へ職員を派遣し東日本大震災の復興支援に協力した。

### 1. 事業運営の概況

園定員	ホーム数
30名	4

### 2. 養育支援実績

#### ① 措置在籍児童数

ホーム名	つくし	めだか	すみれ	ひばり	合計
定員	8	6	8	8	30
在籍児童数小計	8	5	8	8	29
小学生	6	2	5	8	21
幼児	1	3	2	0	6
2歳児	1	0	0	0	1

#### 一時保護児童数

ホーム名	つくし	めだか	すみれ	ひばり	合計
在籍児童数小計	0	1	0	0	1
小学生	0	0	0	0	0
幼児	0	1	0	0	1
2歳児	0	0	0	0	0

#### 〈結果と考察〉

- ・一時保護児童を含めて定員を満たした。
- ・措置、一時保護、ショートステイの入所依頼は、定員を超えることになるので、その多くを断らざるを得なかった。

#### ② 職員構成（年度末時点、上段に実数、下段に最低基準を記入、）

常勤職員												非常勤職員				合計
施設長	基幹的職員	児童指導員 保育士	家庭支援 専門相談員	里親支援 専門相談員	指導員特別加算	個別対応職員	小規模グループ ケア(常勤)	心理療 法担当 職員	事務員	調理員	計	嘱託医	小規模グループ ケア(管理宿直)	その他	計	
1	1	11	2	1	1	1	4	1	1	4	28	1	4	4	9	37
1	1	11	2	1	1	1	4	1	1	4	28	1	4		5	33

〈結果と考察〉

- ・今年度後半、職員配置基準の変更に合わせて家庭支援専門相談員の複数配置ができた。
- ・非常勤配置の管理宿直職員を常勤配置しナイト・ケアを充実させた。

### 3. 児童の処遇実績

#### イ) 健康管理

定期健康診断			測定・検査など		
診療科	実施月日	備考	内容	実施月日	備考
内科	秋に実施	春に幼稚園、小学校で実施	身体測定	毎月実施	幼稚園・小学校でも実施
歯科		幼稚園・小学校で実施	ぎょう虫検査		春に幼稚園、小学校で実施
眼科		同上	尿検査		同上

耳鼻科		同上	予防接種	全員、嘱託医の指導のもと任意も含め接種	
その他		同上	その他		

ロ) 栄養管理（食事・おやつ）の取組み）

- ・栄養士と連携し、子どものリクエストメニューを献立に取り入れ、栄養士と一緒に食卓を囲む機会を設けた。
- ・季節行事料理の取り入れと説明を実施した。
- ・備蓄食を食事に取り入れた。

ハ) 年間行事

<p>&lt;毎月の行事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ホーム共通しているのはお誕生日会である。それ以外は、ホーム独自に子どもの意向を反映して、各種の行事を行った。</li> </ul>
<p>&lt;結果と考察&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より家庭的な養育をめざすために、地域であるものはそれに参加し、様々な経験をする機会を作った。ホーム単位を原則に、さらに少人数で、また季節や子どもの育ちに応じて、伝統行事をはじめ余暇活動などを積極的に行った。</li> </ul>

二) 安全管理

ガーデン エルロイで危機管理委員会を構成し、毎月の各種訓練や関連研修に取り組んだ。

火災	火災による避難訓練を7回実施。内1回は消防署の参加により指導を受けた。
地震	地震による火災避難を2回実施。
津波・浸水	
防犯	大阪府警察本部生活安全部生活安全班による児童への防犯教室、大阪府警枚岡警察署生活安全課による不審者対応を受講。
救命講習	AEDを使用した救命講習を全職員が受講。

ホ) 賠償保険等の加入状況（利用者対象）

保険種別	会社・団体名	補償内容（金額）
施設賠償責任保険	共栄火災海上保険㈱	対人2億円

4. 職員処遇の実績

イ) 職員の健康管理

- ・定期健康診断 年2回(直接処遇職員以外は年1回)、検診内容（胸部X線、血圧、尿、心電図、問診他）
- ・検便 調理員 年24回、保育士 年12回

ロ) 労務管理

- ・特になし

ハ) 職員会議（高齢除く）

内容	実施回数(開催時間)
職員会議	月1回 10時～12時
主任会	適時
ホーム代表者会議	月2回 10時～12時
ホーム支援員会議	月1回 15時～16時
ホーム会議、ユニット会議	月1回 13時～15時
危機管理委員会	月1回 13時～14時
保健衛生会議	月1回 13時～14時
ごちそう会議	月1回 13時～14時
人権委員会（性教育を含む）	任意の時間
ケース会議	随時
子ども会議	月1回

二) 研修実績（イエス団含む）

No.	研修名	主催者	研修内容	開催年月日	参加人数 (職種毎)
1	新任職員のためのビスマナーセミナー	府社協	①社会人、組織人としての心構え ②社会人、組織人として期待されるルールやマナーの実践 ③組織の一員として、仕事をする上での基本理解の共有 ④挨拶や言葉づかいなど、社会人、組織人としての基本事項の習得	4月20日 4月21日	保育士5名 指導員1名
2	河内会新任職員研修会	河内会	①子ども家庭センターの役割 ②施設職員の心構え ③河内会の歴史・グループ指導の実践 ④子どもを支える仲間として(グループディスカッション)	5月6日	保育士6名 指導員1名
3	第1回心理士研修会	河内会	①施設心理臨床における「絆」について ②実践報告	5月13日	保育士1名 心理士2名
4	日本保育保健協議会 全国研修会 in 大阪	日本保育保健協議会	～子どもたちの未来のために少しでもよい保育を～ (1)園での具体的な対応法について考えてみましょう ①食物アレルギー ②発達障害 ③園での傷害を予防する ④抱っこの魅力 ⑤病児保育の現状 (2)保育職員の健康管理 ①感染症対策 ②腰痛、頸肩腕痛、膝痛予防と対策 ③メンタルヘルス	5月22日	施設長1名 保育士1名
5	権利ノート研修	府社協	被措置児童の権利擁護の理解と職員間の情報交換	6月13日 6月29日	保育士3名
6	平成28年度第1回河内会研修会	河内会	よりせい～縁～ 思春期のゆらぎとその理解	6月16日	保育士2名 指導員2名
7	第37回養成校と児童福祉施設との実習研究懇談会	府社協	施設実習モデルプログラムの協働作成について	6月21日	施設長1名 保育士1名
8	第1回集団指導者養成教室	府社協	音楽療法心や身体の発展課題を支援できる音楽療法プログラム	6月27日	心理士1名
9	平成28年度河内会情報交換会 「主査・課長並びに主任・基幹的職員」	河内会	児童支援やケースワークについて指導助言する立場にあるセンターの主査・課長並びに施設の主任・基幹的職員を対象に、いま直面している課題や今後の支援の方向性について情報交換する	6月28日	保育士2名
10	平成28年度こころケア主催研修②	中央子ども家庭センター	虐待におけるペアレント・トレーニング～PCIT,CARE～	7月1日	指導員1名 調理員1名
11	大阪府立精神医療センター講演会	大阪府立精神医療センター	施設での療育を考える	7月4日	心理士1名
12	イエス団全体主任会	イエス団	地域と共に歩む	7月9日	保育士1名
13	平成28年度第1回児童福祉施設と子ども家庭センターとの合同研修会	府社協	家庭引取りに向けて施設と子ども家庭センターの取り組みについて考える	7月14日	指導員1名
14	平成28年度個別相談援助技術研修	府社協	個別相談援助技術	7月26日	保育士1名
15	社会福祉施設従事者研修会	東大阪市社会福祉施設団体連絡会	煙避難・初期消火・地震などの体験学習	8月23日	保育士1名
16	児童福祉施設退所者等に対する自立支援貸付金事業の実施について 河内ブロック説明会	河内会	児童福祉施設退所者等に対する自立支援貸付金事業の実施について	9月1日	保育士1名
17	2016年度リーダーシップ養成研修ステップI	イエス団	MS2009の実現に向けて 必要なリーダーシップの能力を高める	9月1日 2月25日	保育士1名
18	平成28年度河内会給食研修	河内会	小規模化における食	9月8日	保育士1名 調理員2名
19	平成28年度第2回心理士研修会	河内会	プレイセラピーにおける導入と見立て	9月12日	心理士1名
20	第13回西日本児童養護施設職員セミナー	近畿地区/中国地区/四国ブロック/九社連/福岡県児童養護施設	子どもの笑顔を守り繋がる教育を目指して～今、私たち養育者が手を携えて～	9月13日～ 9月15日	保育士1名 指導員1名

		設協議会			
21	JB フェローズハンセン病問題研修	イエス団	ハンセン病問題を正しく知り、それを通して自分たちの中にもあるであろう差別意識と向き合い、イエス団の施設に属する私たちの根っこである「人格を尊重する」ということを見つめなおす機会として、また MS2009 を実現する機会とする	9月15日～ 9月16日	保育士1名
22	平成28年度児童福祉施設研修会 (食事提供関係)	大阪府・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市	食物アレルギーについて～保育所におけるアレルギー対応ガイドラインをふまえて～	9月16日	調理員1名
23	セカンドステップ第161回	日本こどものための委員会	1. レッソンの進め方のスキルを演習する。 2. セカンドステップを実践できるように、参加者の演習を通じて学ぶ	9月17日	指導員1名
24	平成28年度講演会	大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部	施設生活と発達障害との微妙な関係パートⅢ～事例を通して支援策を考える～	9月25日	保育士1名
25	平成28年度大阪府内児童施設職員研修会	府社協	「施設における家庭の養護の質を極める」～一人ひとりの成長が子どもも大人も実感できる養育支援を～ Ⅰ部：基調講演 「愛着や発達(更には知的)に障がいを持つ子どもの年齢ごとの特性や背景を理解し、各種別の施設職員が共通認識を持ち、ケアの連続性について学びを深める」 Ⅱ部：分科会 第1分科会：「これからの児童施設部会はどう進んでいくのか」「真剣討論！児童福祉施設の課題とこれからの『結束』」 第2分科会：「子どもにとって安心の基地となる施設職員のかかわりとは」 第3分科会：「障がいを持っている子どものかかわり方について」 第4分科会：「虐待による不適応行動の理解について」	9月27日～ 9月28日	施設長1名 指導員2名
26	第2回児童養護施設及び情緒障害が短期治療施設における栄養管理研究会	大阪府福祉部子ども室 家庭支援課	(1)グループワーク ①「小規模・ユニットについて」 ②「時間外の子どもへの対応について」 ③調理員の不足時の対応について」 (2)グループ別研究	10月5日	調理員1名
27	第2回集団指導者養成教室	府社協	消防訓練・普通救命講習	10月7日	保育士1名 指導員1名
28	平成28年度児童施設課程 <基礎コースⅡ>	府社協	子ども達へのより良い援助を展開していくためには、児童福祉施設の職員一人ひとりの専門性の向上とチームワークのとれた体制が必要です。この研修では、勤務して3～5年目の施設職員として、これまでの自分自身を振り返り、今後チームの一員としてどのような役割を担うべきなのかを考え、また演習を通して、受講者同士の交流を深め、情報交換の中で、共によりよい支援の方法を考える機会とする。	10月6日 11月2日	保育士1名
29	第2回集団指導者養成教室	府社協	消防訓練・普通救命講習	10月11日	指導員1名
30	大阪施設保母の会一泊研修	大阪施設保母の会	①舞鶴学園見学 ②意見交換会「児童福祉施設における日常業務の課題共有とその対応について考える」 ③意見交換会「小規模化に向けて女性職員として何が出来るか、自分の強みを考える」 ④職員交流会	10月11日～ 10月12日	保育士1名
31	2016年度イエス団施設長研修・京都東九条研修	イエス団	<全体> 研修体系検討委員会答申の「イエス団施設長に期待される能力や働き」から、特に以下の内容をねらいとして施設長研修を行う。 1)問題解決能力を高める 2)運動推進と理念の発信を考える。 3)社会や他社との関わり方についての視点を得る。 <京都東九条研修> 社会の課題が重なっている地域に向き合い、地域に根差した事業展開を行う訪問施設の働きを通して、社会への働きかけや他者との関わり方についての視点を得る。	10月15日～ 10月17日	施設長1名
32	第31回近畿児童養護施設協議会	近畿児童養	発達段階に応じた適切なかかわりとは	10月19日	指導員1名

	職員研修会	護施設協議会			
33	情報交換会(中堅職員)	河内会	中堅職員を対象に、グループディスカッションを通して、今一度自分たちが行っている日々の支援を振り返り、今後に繋げていける機会とする。	10月20日	保育士1名 指導員1名
34	平成28年度第2回包括的暴力防止プログラム(トレーナーコース)	独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター包括的暴力防止プログラム研修会事務局	暴力に対し専門的な知識と技術に基づいた対処技術を獲得を目指す。	11月7日～ 11月10日	指導員2名
35	セカンドステップ第165回	NPO法人日本こどものための委員会	1. レッソンの進め方のスキルを演習する。 2. セカンドステップを実践できるように、参加者の演習を通じて学ぶ	11月19日	指導員1名
36	基幹的職員研修	大阪府福祉部子ども室家庭支援課育成G	自立支援計画等の作成及び進行管理、職員の指導等を行う基幹的職員を招請するための研修	11月21日 12月15日 1月23日	保育士1名
37	園長・福祉施設長等交流会	東大阪市社会福祉施設団体連絡会	東大阪市内の福祉施設の園長・施設長、理事長等を対象とした交流会	11月25日	保育士1名
38	管外施設見学会	東大阪市集団給食研究会	和菓子手作り体験や庭園散策などを通じて親交を深める	11月27日	調理員1名
39	平成28年度河内会情報交換会「子ども家庭センターと施設職員」	河内会	子ども家庭センター並びに施設職員間での情報交換	12月1日	施設長1名 保育士1名
40	東大阪市福祉施設職員研修会&交流会	東大阪市福祉施設会	高齢者福祉施設を訪れ、今後の施設運営について考える機会とする	12月7日	施設長1名 指導員1名
41	全国秋季セミナー	”人間と性”教育研究協議会 全国児童養護施設サークル	「児童養護施設で暮らす子どもたちの生きる力を育むために」～生活の中の”生”と”性”を考える～	12月7日～ 12月9日	保育士1名
42	第2回集団指導者養成教室	府社協	消防訓練・普通救命講習	12月8日	保育士1名
43	平成28年度第2回CVPPP トレーナー養成研修	独立行政法人国立病院機構やまと精神医療センター	暴力に対し専門的な知識と技術に基づいた対処技術を獲得を目指す。	12月12日～ 12月15日	指導員1名
45	平成28年度河内会情報交換会(所長並びに施設長)	河内会	所長並びに施設長間での情報交換	12月20日	施設長1名 保育士1名
46	平成28年度児童施設部会主任研修会	府社協	親子関係調整や親支援に困難な状況が生まれている中、子ども家庭センター(児相)との共同体制が不可欠となっている。相互の様々な実情を理解し、これからの連携・協力のあり方について考える。	1月16日	保育士1名
47	平成28年度全国児童養護施設中堅職員研修会	全国児童養護施設協議会	養育の質の向上を担う中堅職員の役割—子どもと職員とともに歩む未来へ—	1月17日～ 1月19日	保育士1名
48	平成28年度児童相談所・児童福祉施設職員合同研修	子どもの虹情報研修センター	児童相談所と児童福祉施設とのよりよい協働をめざして、指導的職員としての資質の向上を図る。「児童相談所と児童福祉施設の協働」「親子関係の再構築」「施設内の性暴力」	1月17日～ 1月20日	保育士1名
49	河内会宿泊研修会	河内会	①地域小規模児童養護施設についての理解を深め、今後の運営につなげられるような機会とする。 ②センターや施設間での交流を深める。	1月18日～ 1月19日	施設長1名 保育士1名
50	六合会と施設職員との交流会	北摂児童施設連名	六合会と施設職員との交流会を深める	1月21日	保育士1名
51	児童施設課程応用コース	府社協	児童福祉施設における発達障がいの子どもの支援について	2月3日	指導員1名
52	セカンドステップ第169回	日本こどものための委員会	1. レッソンの進め方のスキルを演習する。 2. セカンドステップを実践できるように、参加者の演習を通じて学ぶ	2月4日	保育士3名 指導員1名 心理士1名
53	小規模地域児童養護施設研修会	地域小規模児童養護施設	家庭的養護推進計画の取り組み事業である、地域小規模児童養護施設やユニット制、分園体制など、子どもを小集団単位で養育・支援する取	2月14日	保育士1名

		設連絡会	り組みが活発になっています。小規模支援単位にすることによるメリットと共に課題について、情報交換するとともに支援の質の向上について研鑽する機会にする。		
54	大阪施設保母の会 2月定例会	府社協	アンガーマネジメント(怒りのコントロール)について	2月14日	保育士1名
55	cocoro-net@osaka17	府社協	児童福祉心理臨床の「枠」を考える	2月15日	心理士1名
56	平成28年度日本臨床心理士会定例研修会Ⅱ(大阪)	一般社団法人日本臨床心理士会	B 産業・組織心理専門研修会 ①「臨床感覚、そして事務局感覚」 ②組織で働くときに大切にしたいこと ③「どのように組織に関わるか～事例によるワーク」 ④「研修会の講師を頼まれたら」 C 社会的養護専門研修会 ①「傷ついたこどもの声を聴く」 ②「性的問題を抱えた子どもたちへの支援」 ③「社会的養護児童の喪失感」	2月18日	心理士2名
57	安全委員会方式研修会	NPO 法人 CAPNA	児童養護施設内の暴力・性暴力・虐待を無くすために	2月23日～ 2月24日	保育士1名 指導員1名
58	第2回児童福祉施設と子ども家庭センターとの合同研修会	府社協	「児童福祉の現場では」～ストレスを知る～お互いの現場でのストレスを知ること、協働・連携できる環境を整えるきっかけとしたい。	2月28日	保育士1名
59	施設職員と子ども家庭センター職員交換研修意見交換会	子ども家庭センター	研修を受講した施設職員と子ども家庭センター職員それぞれが学んだことや感じたことを共有し、子どもや家庭への援助技術の向上を図るとともに、施設と子ども家庭センターの連携を強化すること。また、今後の研修をさらに有意義なものとするを目的とする。	3月1日	施設長1名 保育士1名
60	平成28年度従事者部会人権研修	府社協	「さとにきたらええやん」の上映、「子どもの里」を舞台に時に悩み、立ち止まりながらも全力で生きる子どもたちと、彼らに全力で向き合う職員や大人たちに密着し、子どもも大人も抱える「しんどさ」と向き合いながらともに立ち向かう姿をテーマに、福祉現場における課題やニーズについて考える機会とする。	3月7日	指導員1名
61	小規模ケアにおける養育モデル研修(基礎編・実践編)	NPO 法人 日本子ども養育研究会	専門職としての姿勢とスキルの向上、子どもに対する最善のアプローチの方法を学び具体的且つ効果的に子ども自身の行動を促し、子どもの社会自立(自律)を促進する。	3月8日～ 3月9日	保育士1名
62	平成28年度第4回集団指導者養成教室	府社協	福祉の仕事でプロになる～さらなる飛躍に向けた実践のポイント～	3月16日	保育士1名
63	子どもの援助者のための「怒り・落ち込み」と上手につき合う方法<中級>～怒りが悲しみに、落ち込みが落ち着きに!	公益財団法人明治安田こころの健康財団	「怒り」「落ち込み」の基盤にあるビリーフや不安、怒り、落ち込みをめぐる悪循環について、悪循環を修正する方法について学ぶ。	3月25日～ 3月26日	保育士1名
<p>&lt;結果と考察&gt; 多くの研修に職員を派遣することが出来た。今後、児童の年齢が上がっていくのに合わせ CVPPP への職員派遣を始めた。2017年度も継続して職員の派遣を続けて行く。</p>					

- ホ) 福利厚生<退職共済制度(機構・府県・市)、福利厚生制度等>  
・ 社会福祉施設職員等退職手当共済制度(福祉医療機構)

## 5. 子育て支援センター・地域との交流の報告

月	子育て支援センター	月	地域交流との交流
4		4	
5		5	
6		6	四條の風フェスタ参加

7		7	上六万寺納涼祭招待
8		8	特養)なるかわ苑納涼祭招待、やまなみ子どもフェスタ参加、大池公園盆踊り大会参加
9		9	
10		10	子ども会秋の運動会参加
11		11	クリーンキャンペーン参加
12		12	
1		1	
2		2	
3		3	
<p>&lt;結果と考察&gt; 地域の行事に積極的に参加をすることが出来た。</p>			

#### 6. 施設・設備の整備の実績（項目、金額、実施月等、10万円以上記載）

整備の名称	金額	勘定科目	財源	実施月
会計ソフト	138,000	ソフトウェア取得支出	措置費/事務費	5月
渡り廊下柵取り付け	907,000	建物取得支出	措置費/事業費	7月
ワイヤレスアンプ	104,800	器具及び備品取得支出	措置費/事業費	7月
インターホン更新工事	394,200	器具及び備品取得支出	措置費/事務費	3月

#### 7. 会計決算の状況

- ・職員配置基準の改定と、二人目の家庭支援専門相談員の加算により措置費増となった。
- ・家庭教師(ボタニカ)を導入し、個別学習支援体制を強化したため、教育指導費支出増となった。
- ・給食費に関しては、決算時において利用者等外給食費支出を振り替えた為、予算との差が生じた。
- ・管理宿直等にあたる職員を早期から確保できたことと、人材確保事業の対象となる採用予定者の非常勤勤務により、非常勤職員給与支出増となった。一方で、常勤職員退職後に非常勤職員の採用が進んだため、常勤職員の人件費全般の支出減となった。

#### 8. その他

- ・2017年度に地域小規模児童養護施設開設することを職員間で確認した。
- ・児童施設部会河内会副会長施設の役割を担った。